

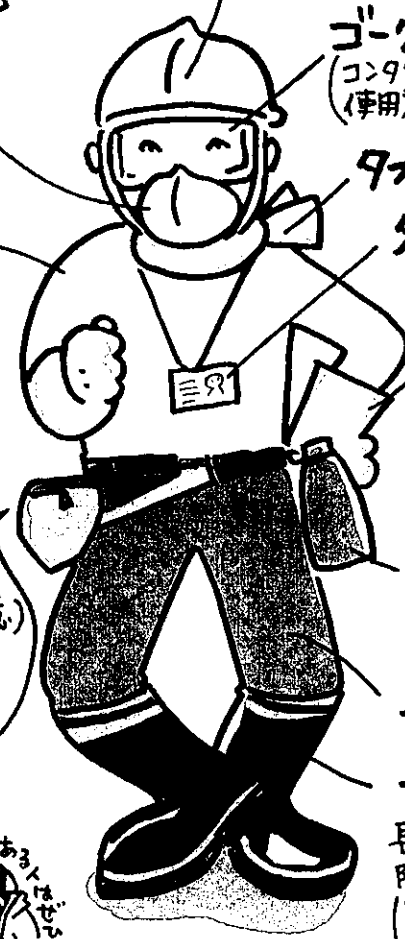
水害

ボランティア

作業

マニュアル

これで 完ペキ



帽子orヘルメット

ゴーグル
(コンタクト
使用者は必須)

防塵マスク
立体型がおススメ

長袖
速乾性のシャツ
がおススメ

泥だらけで置く場所は
がないことも
ウェストポーチや
デニムバックで
荷物をひとまとめ

雨具(上下別で
防臭にも)
梅干し(熱中症注意)
ミニ応急セット
貴重品

*床下の泥出し
作業に
ヘッドライト
が大活躍
あつはせて
ヤックが便利

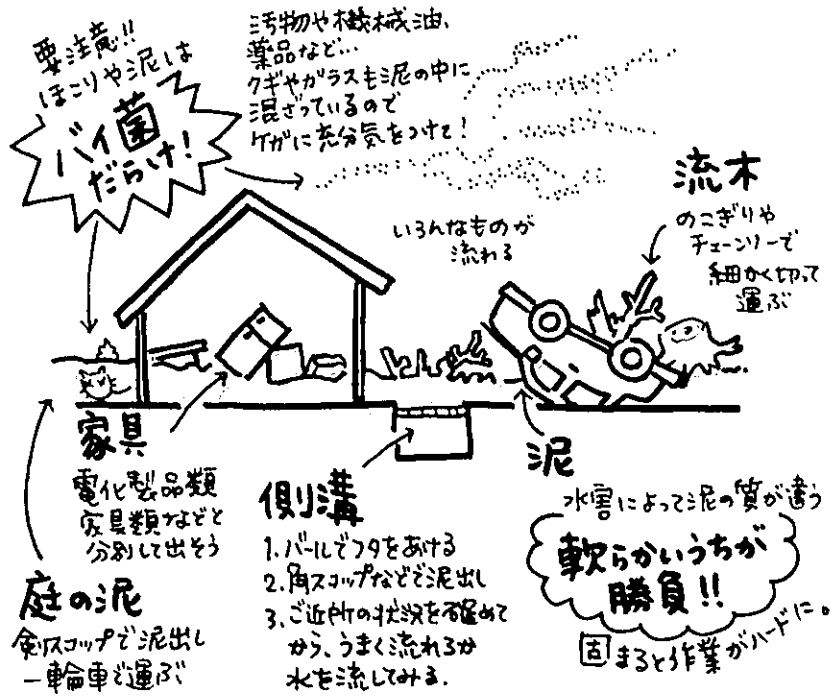
タオルやてぬい
名札

厚手で長めの
ゴム手袋
軍手はNG
(中にはめるなら
汗を吸うのがGood)

水筒
目や手の洗える
水がベスト

長ズボン
長ぐつ

長いタイプで踏み抜き
防止鉄板入りがベスト
(踏み抜き防止の中敷
もある)

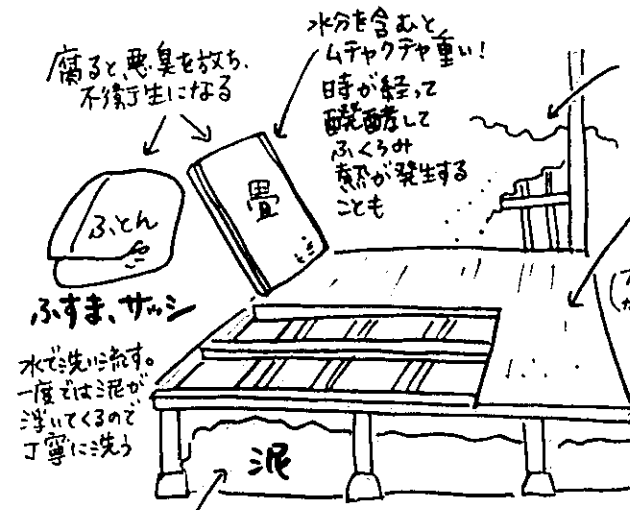


水害によって泥の質が違う
柔らかいうちが
勝負!!
固まると作業がハードに。

- 側溝
1. バルコニーをあげる
 2. 角スコップなどで泥出し
 3. 近所の状況を確認して、うまく流れるか水を流してみる。

土カベ
バルコニー
かきやど
かさ落とす

床
バルコニーを使
はがす。
(70-70は電ノコなど
が必要は場合アリ)
すべりやすく、水を
吸って弱くなる
るので、
踏み抜き注意!



1. 泥出し
道具に水を付けながら、やると泥がつきにくい
2. 洗浄
デッキブラシや、水切りなど
3. 乾燥
とにかく早く乾燥! ココが大事。
4. 消毒
塩性石けんなど、消石灰は使用しない。

その他
◆ 片付けの前に保険や補償(り災証明など)のために、被災の現状を写真で撮るなどして記録しましょう。◆ 水に浸かった車はエンジンをかけない(発火やエンジンが全壊する恐れあり) ◆ 冷蔵庫やエアコンのフロンガス回収を忘れず。

廃棄するものでも、家族にとっては大切な思い出のつまった物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

被災された方の気持ちやペースにあわせよう / お話をたっぷり聞こう / 真剣さと笑顔を織り交せて / 塩分と休憩はしっかりとろう

道具用途一覧

剣スコップ
固い土・堆積した泥

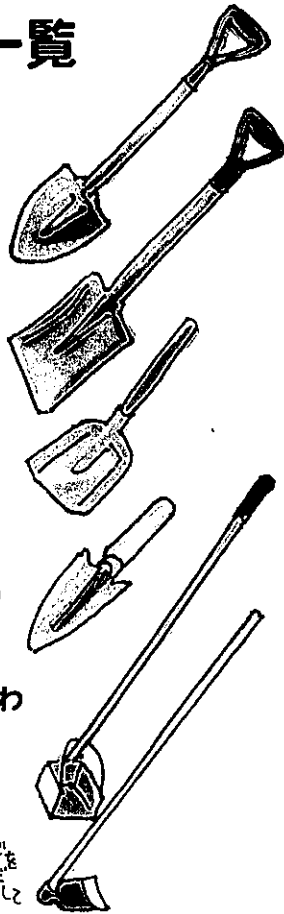
角スコップ
床下の泥出し
道路や側溝などの平たい所

じゅうのう
十能
縁の下・側溝

ミニスコップ(コテ)
家の中の細かい泥

じょれん・どうぐわ
側溝

腰を痛めない方法



バール(大・小)
土壁落とし・家具の解体
床板はがし・側溝の蓋開け
テコがわり

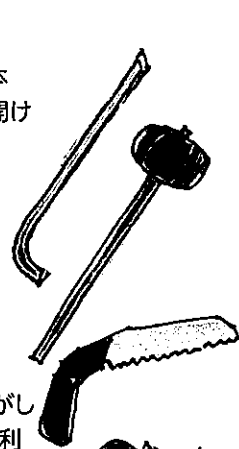
かけや
土壁落とし

のこぎり
流木などの裁断
フローリングの床板はがし
※型枠用か植木用が便利

デッキブラシ・たわし
床板・道路・壁掃除

水切り
※雑巾より便利

モップ
水切り・拭き掃除



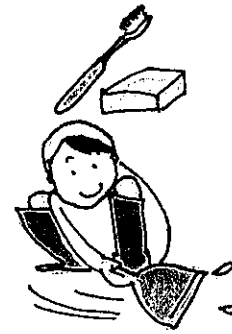
ほうき
掃き掃除
※室内用と屋外用と分けて使う

雑巾・タオル
拭き掃除
※普通タイプがなにかと便利。
大きいとかえって不便



スポンジ・歯ブラシ
細かいところの掃除
※左官用スポンジは
泥水などの給水に便利

ちりとり
水切りがわり
狭いところの泥だし
※割れにくい金属製がオススメ



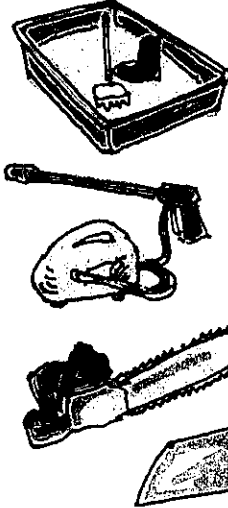
あると便利な道具たち

左官用フネ
機材・長靴の洗浄
※資材担当で活躍

高圧洗浄機
高いところの洗浄
道具の掃除
※レンタルあり

チェーンソー
流木・倒壊家屋の処理
※使い慣れている人のみ

ブルーシート
家財などの下に敷く
資材の保管・屋根補修



パワーショベル
荷物運搬・がれき撤去
泥だしなど
※レンタルあり・免許
必須・バケットサイ
ズ0.1立米が手ごろ

フレコン(トン袋)
大量の泥
※重機での回収が必要

軽トラック
人・物の運搬
※小回りが利いて
狭い道でもOK。
レンタルあり

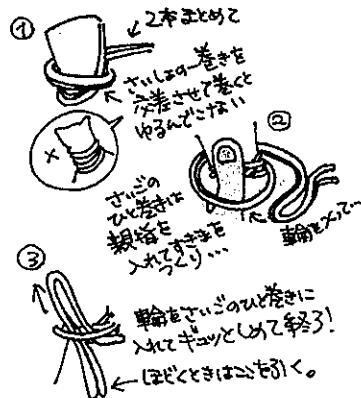


バケツ
ぞうきん・タオル洗い
※取っ手が壊れるので入れすぎ注意
左官用バケツなど丈夫なものがよい

一輪車
荷物・泥の運搬、水を入れるなど
※深いタイプがオススメ

土のう袋
泥・細かいがれき・廃棄物を入れる
※腰を痛めるので6~7割以上は入れない
・水は時間がたてば抜けるので気にしない
・平に積み重ねると崩れにくく、キレイ
・泥が流れ出さないようしっかり口を結ぶ

※土のう袋をしばるコツ



※液体状の泥などはほどけると出てきてしまうため、しっかりと結ぶ。

安全と衛生 無理せず、ケガなく

粉塵
まれに短期間で病気を起こす恐れあり。
→粉塵用のマスクやタオルでカバー

熱中症
大量の汗や通気性の悪い服での作業・睡眠不足・お酒の飲み過ぎに注意!
→水分・塩分(水だけじゃダメ)・休憩

破傷風
深い刺し傷に注意!
→ケガをしないように長袖・手袋・長靴・安全靴を装着する

活動後はうがい・手あらい!
目に泥がよく入るので真水があると便利。

